

関東甲信越英語教育学会 2017年度 春季研修会

1. 研修会テーマ

「学びに向かう力・人間性等を育成する英語の授業」

2. 日 時

2018年3月25日(日) 9:50~16:50

3. 会 場

明海大学(千葉県浦安市明海1丁目)2501講義室(講義棟5階)

JR京葉線・新浦安駅下車 徒歩約10分

4. 参加費

会員:無料

非会員:2,000円

学部生・大学院生(非会員):500円

5. スケジュール・内容

9:30~9:50 受付

9:50~10:00 開会式 会長挨拶

10:00~11:10 1. 授業実践報告(小学校)(70分)

テーマ:「小学校外国語科開始目前、是非共有しておきたい覚え書き

~現場からの提言・現場への提言~」

発表者:桐井 誠 先生(長野県松本市立大野川小中学校 教頭)

外国語活動開始と同時に県指導主事となり3年間、中学校教頭として地域小中連携に取り組んで2年間、小中併設校教頭として一貫した指導体系とカリキュラムマネジメントに取り組んで2年間の計7年間で振り返り、実際に出会った授業、子ども、先生方の姿などをもとに、英語そのものではなく、これからの小学校現場に必要なセンス・理念のブラッシュアップを共に図れればと願っています。」

11:20~12:30 2. 授業実践報告(中学校)(70分)

テーマ:「『自ら学び続ける生徒』を育成するための指導と手立て」

発表者:蜂巢 桂 先生(千葉大学教育学部附属中学校 教諭)

今回の学習指導要領改訂では、「新しい時代に必要となる資質・能力」の1つとして、「学びに向かう力・人間性等」の育成を掲げています。英語の授業において、自己・他者への関心と認め合う場を作り出すことが「もっと英語を使うことができるようになりたい」、「もっと学びたい」という姿勢を培うことにつながるのでしょうか。プロジェクト型学習やパフォーマンス課題といった大きな実践から、「聞き手、読み手、話し手、書き手」を意識した日頃の小さな活動まで、これまでの様々な授業の取組みをご報告いたします。

12:30~13:50 昼食・休憩

13:50～15:00 3. 授業実践報告(高校)(70分)

テーマ : 「主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業
～パラメンタリーディベートの活用を通して～」

発表者 : 森田 正彦 先生(茨城県立土浦第一高等学校 教諭)

本発表では、平成22年度から8年間実践してきた、即興性重視型ディベートであるパラメンタリーディベートを活用した授業を紹介します。難易度の高い活動を行うために採り入れたスモールステップやスキヤフオールディング、そして対話を促したり学びを深めたりするための工夫について検討します。また、英語の授業で育成できる「学びに向かう力・人間性」とはどのようなものなのかを少しでも具現化したいと思っています。

15:10～16:40 4. 講演(90分)

テーマ : 「日本型学校英語教育と学びに向かう力・人間性等の教科横断的な目標」

講師 : 松沢 伸二 先生(新潟大学 教授)

日本の学校は教科指導、生徒指導、部活動指導等を一体的に行う。この日本型学校教育の成果は学力面のみならず、勤勉さ、礼儀正しさなどの人格面でも国際的に高く評価されている。学校英語教育の目標には英語の知識・技能・態度等の「教科固有の目標」と、学びに向かう力・人間性等の「教科横断的な目標」の2種類がある。人工知能(AI)の進化により十年以内にスマホでの自動音声翻訳機能が可能になる今日において、日本型学校英語教育ではどのような教科横断的な目標を一体的に教育すべきか。諸外国の教育課程等に言及して考察する。

16:40～16:50 閉会式

17:00～19:00 懇親会 明海大学内レストランにて(会費3,500円)